



新たな一步にむけて

社会福祉法人名寄みどりの郷
理事長 梅野 博

令和5年度がスタートし、半年が経過しようとしています。

今年度は「新たな一步」に向けた取り組みが大きく二つあります。

一つ目は、新型コロナウイルス感染症についてです。

今年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げとなりました。その引き下げに伴い、各事業所では市外への外出、外食、保護者との行事、町内会行事等、感染対策を実施しながら再開させる取り組みが増え、少しずつではあるかもしれませんが利用されている方も、楽しみが増え、笑顔が多く見られる時間が増えてきたと感じております。

福祉事業ではコロナ禍前の日常を一気に取り戻すことは難しい部分もありますが、感染症予防を引き続き行いながら、徐々に日常の生活を取り戻す取り組みだけではなく、新たなスタイルを構築していきたいと考えております。

二つ目は、次期中期経営計画の策定です。

今年度は当法人の中期経営計画の最終年であり、来年度には報酬改定も控えております。

中期経営計画の3つの柱（1.「利用者の満足、家族の安心、地域の信頼を得るサービスの提供」、2.「人を育て、人を活かし、人を大切にする職場環境の確立」、3.「透明性、安定性を確保し、有機的に機能する組織、経営の実践」）について、5年間の実践状況の確認と検証を行い、次年度の報酬改定を踏まえた次期中期計画策定に向けた取り組み等の検討を現在進めている所です。

コロナ禍や制度の改正等様々なことはありますが、新たな一步を着実に進める中で、利用いただいている全ての方々の人生がより豊かで、笑顔があふれる毎日になるよう、法人職員一同、日々の支援を大切に丁寧に進めていく所存ですので、今後も当法人の取り組みにご理解とご協力をお願いいたします。

令和4 年度 社会福祉法人名寄みどりの郷 決 算 認 定

社会福祉法人名寄みどりの郷の事業報告及び決算が下記のとおり承認されました。

貸 借 対 照 表

社会福祉法人名寄みどりの郷
令和5年3月31日現在

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
【流動資産】	207,058,225	217,540,733	△ 10,482,508	【流動負債】	17,092,942	29,716,666	△ 12,623,724
現金預金	120,816,921	129,736,243	△ 8,919,322	事業未払金	14,910,321	12,787,898	2,122,423
事業未収金	74,925,554	76,295,425	△ 1,369,871	その他の未払金	0	4,500,000	△ 4,500,000
未収金	7,500,000	9,232,235	△ 1,732,235	1年以内返済予定リース債務	0	0	0
未収補助金	2,515,000	1,090,204	1,424,796	未払費用	2,143,088	12,395,405	△ 10,252,317
棚卸資産	1,220,200	1,106,076	114,124	職員預り金	39,533	33,363	6,170
原材料	1,220,200	1,106,076	114,124	【固定負債】	53,466,250	51,376,370	2,089,880
立替金	80,550	80,550	0	リース債務	0	0	0
【固定資産】	392,594,154	410,861,909	△ 18,267,755	退職給付引当金	53,466,250	51,376,370	2,089,880
基本財産	144,444,669	155,637,069	△ 11,192,400	負債の部合計	70,559,192	81,093,036	△ 10,533,844
土地	40,331,000	40,331,000	0	純資産の部			
建物	501,830,505	501,555,505	275,000	【純資産】	529,093,187	550,597,421	△ 21,504,234
建物減価償却累計額	△ 398,716,836	△ 387,249,436	△ 11,467,400	基本金	1,000,000	1,000,000	0
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	国庫補助金等特別積立金	58,672,157	71,204,227	△ 12,532,070
その他の固定資産	248,149,485	255,224,840	△ 7,075,355	国庫補助金等特別積立金	267,998,170	267,998,170	0
土地	7,887,300	7,887,300	0	国庫補助金等特別積立金取崩額累計額	△ 209,326,013	△ 203,059,978	△ 6,266,035
建物	142,142,670	142,142,670	0	その他の積立金	168,000,000	171,000,000	△ 3,000,000
建物減価償却累計額	△ 135,080,737	△ 132,261,773	△ 2,818,964	人件費積立金	35,000,000	36,500,000	△ 1,500,000
構築物	5,476,230	5,102,230	374,000	修繕積立金	16,500,000	16,500,000	0
構築物減価償却累計額	△ 4,021,883	△ 3,787,980	△ 233,903	備品等購入積立金	14,500,000	20,500,000	△ 6,000,000
車両運搬具	7,631,500	7,631,500	0	施設整備等積立金	90,000,000	90,000,000	0
車両減価償却累計額	△ 7,631,494	△ 7,631,494	0	工賃変動積立金	1,000,000	1,000,000	0
器具及び備品	57,053,880	53,187,540	3,866,340	設備等整備積立金	11,000,000	11,000,000	0
器具及び備品減価償却累計額	△ 46,841,581	△ 43,988,873	△ 2,852,708	次期繰越活動増減差額	301,421,030	305,871,414	△ 4,450,384
有形リース資産	0	0	0	(うち当期活動増減差額)	△ 11,950,384	2,978,220	△ 14,928,604
有形リース資産減価償却累計額	0	0	0	純資産の部合計	529,093,187	547,309,606	△ 18,216,419
退職給付引当資産	53,466,250	51,376,370	2,089,880	負債及び純資産の部合計	599,652,379	628,402,642	△ 28,750,263
その他の積立資産	168,000,000	175,500,000	△ 7,500,000				
電話加入権	67,350	67,350	0				
資産の部合計	599,652,379	628,402,642	△ 28,750,263				

事業活動計算書

社会福祉法人名寄みどりの郷
(自) 令和4年04月01日 (至) 令和5年03月31日

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益				用	サービス活動外費用計(5)	2,073,213	2,568,894	△ 495,681
	就労支援事業収益	36,135,143	35,159,971	975,172	特別増減の部	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,463,612	480,483	△ 983,129
	障害福祉サービス等事業収益	444,562,260	463,670,405	△ 19,108,145		経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 11,950,384	2,978,222	△ 14,928,606
	経常経費寄附金収益	60,000	160,000	△ 100,000		収益			
	その他の収益	199,690	0	199,690		施設整備等補助金収益	0	0	0
	サービス活動収益計(1)	480,957,093	498,990,376	△ 18,033,283		固定資産売却益	0	0	0
	費用					特別収益計(8)	0	0	0
	人件費	293,228,850	303,808,386	△ 10,579,536		固定資産売却損・処分損	0	2	△ 2
	事業費	49,139,951	47,569,685	1,570,266		国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	0
	事務費	83,738,507	77,894,594	5,843,913		特別費用計(9)	0	2	△ 2
サービス活動外	就労支援事業費用	48,865,669	48,236,632	629,037	費用	特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	△ 2	2
	減価償却費	16,293,925	16,408,599	△ 114,674	繰越活動増減の部	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 11,950,384	2,978,220	△ 14,928,604
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 6,196,845	△ 6,196,845	0		前期繰越活動増減差額(12)	305,871,414	307,393,194	△ 1,521,780
	その他の費用	9,301,032	8,771,586	529,446		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	293,921,030	310,371,414	△ 16,450,384
	サービス活動費用計(2)	494,371,089	496,492,637	△ 2,121,548		基本金取崩額(14)	0	0	0
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 13,413,996	2,497,739	△ 15,911,735		その他の積立金取崩額(15)	7,500,000	0	7,500,000
	収益					その他の積立金積立額(16)	0	4,500,000	△ 4,500,000
	受取利息配当金収益	4,931	5,074	△ 143		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	301,421,030	305,871,414	△ 4,450,384
	その他のサービス活動外収益	3,531,894	3,044,303	487,591					
	サービス活動外収益計(4)	3,536,825	3,049,377	487,448					
	費								
	その他のサービス活動外費用	2,073,213	2,568,894	△ 495,681					

資金収支計算書

社会福祉法人名寄みどりの郷
(自) 令和4年04月01日 (至) 令和5年03月31日

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入				支出	固定資産取得支出	4,797,000	4,515,340	281,660
	就労支援事業収入	35,557,000	36,135,143	△ 578,143	繰越活動増減の部	ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0
	障害福祉サービス等事業収入	440,658,000	444,562,260	△ 3,904,260		施設整備等支出計(5)	4,797,000	4,515,340	281,660
	経常経費寄附金収入	60,000	60,000	0		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 4,797,000	△ 4,515,340	△ 281,660
	受取利息配当金収入	9,000	4,931	4,069		積立資産取崩収入	7,500,000	12,399,855	△ 4,899,855
	その他の収入	3,503,000	3,731,584	△ 228,584		その他の活動収入計(7)	7,500,000	12,399,855	△ 4,899,855
	事業活動収入計(1)	479,787,000	484,493,918	△ 4,706,918		支出			
	人件費支出	286,014,000	291,801,685	△ 5,787,685		積立資産支出	6,330,000	6,327,020	2,980
	事業費支出	48,990,000	49,139,951	△ 149,951		その他の活動支出計(8)	6,330,000	6,327,020	2,980
	事務費支出	81,665,000	83,738,507	△ 2,073,507		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,170,000	6,072,835	△ 4,902,835
施設	就労支援事業支出	48,191,000	47,969,933	221,067	前期末支払資金残高(12)	予備費支出(10)	0	—	0
	その他の支出	11,249,000	11,374,245	△ 125,245		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	51,000	2,027,092	△ 1,976,092
	事業活動支出計(2)	476,109,000	484,024,321	△ 7,915,321					
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,678,000	469,597	3,208,403			186,717,991	186,717,991	0
	収入								
	施設整備等補助金収入	0	0	0					
	施設整備等収入計(4)	0	0	0		当期末支払資金残高(11)+(12)	186,768,991	188,745,083	△ 1,976,092

多機能支援センター



センター長 横田 一真

日頃より当事業所の運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、1ページの理事長の言葉にもあった通り、新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが変わった中、なかなか身動きが取れなかった各種活動内容、企画等を徐々にコロナ禍以前に戻している毎日です。

しかしながら、入所施設においては特に、集団生活を送っている上で、より高い意識を持った感染対策が変わらず求められております。法人の理念にも、「利用者の方々の人格・人権・生命を守り、自己実現に向けてのサポートをさせていただきます。」とうたっている通り、利用者の方々の人生がより幸せに包まれるよう、職員一同、あらためて、日々の支援をより大切にしていける所存です。

名寄丘の上学園（入所）



施設入所では、普段の活動の他にも様々な企画も実施中。
コロナに負けずに楽しむぞ！！



名寄丘の上学園（通所 リリアン）

通所も元気に皆で楽しく日々の活動をしています。
もちろん、企画も順次実施中。



地域生活支援センター



センター長 吉川 展光

例年以上の蒸し暑さに苦しめられた夏が過ぎようとし、少しずつ秋を感じる季節となりました。

令和5年5月の感染症法改正により、新型コロナウイルスが5類相当に引き下げられました。感染症が終息した訳ではありませんが、規制ばかりだった3年半の時間と日常を取り戻すべく、当センターでは少しずつ様々な試みを開始しています。

共同生活援助では「くらしの充実」のため、町内会や各イベントの再開も相まって、入居者の皆さんが「屋外」で活動する場面が増えました。就労継続支援では、通所する皆さんが「活き活きと活動」できるよう、職員の採用等でフレッシュな環境をつくっています。利用者自治会すまいるも、以前にも増して、活発な動きを見せ始めています。

後期もご利用される皆さん、ご家族の皆さんが、少しでも安全安心を感じていただきながら、「楽しい時間」を提供できるよう努める所存です。引き続き、当センターの事業運営には、ご理解とご協力をいただければ幸いです。宜しくお願い致します。

自治会すまいる 総会



4月に利用者自治会の総会を行いました。
役員のみなさんが中心になり、事前の準備から当日の会場設営まで進めてきました。

まだ春先だったこともあり、楽しみにしていた会食は見合わせましたが、来年は皆さん揃ってお食事ができますように！



今年度は、まちのイベントにも 積極的に出かけています

久々の「名寄公園まつり」はお天気に恵まれ、最高の焼き肉日和でした！



勉強会

活発に利用者自治会の活動を行っています！



今年度1回目の勉強会は、保健センターから講師をお招きして、生活習慣病や感染予防について講演いただきました。ジュースに入っているお砂糖の量を教えて頂いたり、手の洗い残しが無いかチェックをしたり、普段できない経験ができました。



ボウリング

恒例の余暇ボウリングは、いつもより応援に来て下さる方が多く、まるでボウリング大会の様な雰囲気、大盛り上がりでした。



地域づくり支援センター



センター長 大霜 竜紀

当センターは、子どもたちに支援を提供する「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所 遊楽」と、よろず的な相談や福祉サービスを利用する際に必要な「サービス等利用計画」など、相談支援全般を行う「相談支援事業所 名寄みどりの郷 いんくる」の2つの事業を運営しています。

どちらの事業も、住み慣れた地域や希望される地域で生活するためのお手伝いをする事業であり、この事業を通して、より豊かな生活を送るために、どのように地域をつくっていくか（地域づくりをするか）が私たち事業所に求められていることのひとつだと感じています。

当事者皆様やご家族の皆様が安心して生活できるように、当センターの2つの事業を通し、今後も事業を展開したいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所『遊楽』

新型コロナウイルス感染症も5類となり、感染症対策を行いながら少しずつ外出や飲食を伴うイベントも再開！子どもたちの笑顔も満開！とても楽しい夏の思い出がたくさんできました！

<BBQ>



<旭山動物園見学>



動物園は2回に分けて行きました！！

<流しそうめん & クレープ作り>



久しぶりのBBQ&流しそうめん。ご家族の皆様にもお手伝いいただき、楽しいひと時を過ごしました。

<その他>



相談支援事業所「いんくる」

これまで感染症対策でオンラインの研修がほとんどでしたが、対面での研修が徐々に復活してきました。

実際に相談支援に従事する方達や関係機関の方達と対面で一緒に研修をすることで、想いを共有したり、一緒に考えたりする機会の中で、地域づくりを共に進める仲間がいることを実感しています。

お互いの立場を理解しながら、「当事者のための支援」を積み重ねていける地域を目指して、今後も事業を進めていきたいと思います。



新任職員紹介

(令和5年4月～令和5年6月)



多機能支援センター（名寄丘の上学園 看護師）
 ○加藤 香緒梨（かとう かおり）令和5年4月採用
 ○ご挨拶／4月から看護師として勤務しております。
 皆さんの健康維持、増進のために頑張りますので、よろしくお願い致します。



多機能支援センター（名寄丘の上学園 事務員）
 ○佐藤 綾香（さとう あやか）令和5年4月採用
 ○ご挨拶／慣れない事ばかりで至らない点があるかも知れませんが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



多機能支援センター（名寄丘の上学園 支援員）
 ○手塚 忠夫（てづか ただお）令和5年4月採用
 ○ご挨拶／最初は覚えることが多く、利用者の方に十分なサービスの提供が出来ませんでしたが、周りの方々に助けて頂きながら少しずつ仕事を覚え、これから更に良いサービスが提供出来る様に頑張りたいと思っております。



多機能支援センター（名寄丘の上学園 事務員）
 ○南 隆作（みなみ りゅうさく）令和5年6月採用
 ○ご挨拶／微力ながら、利用者の皆様のお役に立てる様に、全力で環境整備を頑張ります。よろしくお願い致します。

新任職員紹介

(就労継続支援)

(令和5年4月～令和5年8月)



地域生活支援センター（ハートフル・みらい 支援員）
 ○大居 有香（おおい ゆか）令和5年5月1日採用
 ○ご挨拶／不慣れなことが多いですが、楽しく仕事をし、早く頼られる存在になれるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



地域生活支援センター（ハートフル・みらい 支援員）
 ○伊豫谷 由季（いよだに ゆき）令和5年8月21日採用
 ○ご挨拶／わからないことばかりで、ご迷惑をかけることもあるかと思いますが、日々成長を目標に一生懸命やっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します！



地域生活支援センター（ハートフル・みらい 指導員）
 ○宮田 怜（みやた さとる）令和5年7月1日採用
 ○ご挨拶／新人で不慣れなことや至らないことが多々ありますが、色々なことを経験して、自分自身の成長に繋がっていきたいと思っています。そして、利用者の皆さんとより良い関係を作っていけるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

中村評議員退任、新評議員紹介

中村幸尚評議員が、令和5年6月15日（木）に開催をされました定時評議員会において任期を終えました。長きに渡り、法人のため、ご利用者のためにご尽力いただきましてありがとうございます。
 後任には、松崎義昭評議員が就任致しました。



編集後記

今年度も半年が経過しました。
 新型コロナウイルス感染症対策の中で、人との交流の機会が制限された3年間から今年度は少しずつ交流を再開できる環境になりつつあります。
 福祉は人と人とのつながりの中で醸成され、熟成されていく側面が大きいことから、人と人とのつながりを大切にしていきたいとコロナ禍を経て改めて感じている所です。
 つながりを大切に今後も事業を運営して参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。